

公社等外郭団体改革進行管理表

公 社 名	一般社団法人 高知県肉用子牛価格安定基金協会		主管課名	畜産振興課
役 割	家畜畜産物の安定供給の確保を目的とした肉用牛生産者の経営安定と健全な家畜の生産に関する事業の実施			
改革の方向性	健全経営の確保	主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○肉用子牛事業（生産者補給金制度） <ul style="list-style-type: none"> ・生産者補給金交付契約の締結 ・生産者積立金の積立及び生産者補給金の交付 ○肉用牛肥育事業（経営安定交付金制度） <ul style="list-style-type: none"> ・肥育牛補てん金の交付契約の締結 ・肥育安定基金に係る生産者負担金の積立及び肥育牛補てん金の交付 ○家畜衛生事業 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜衛生及び自衛防疫の推進並びに畜産物の安全性・品質向上に関する業務 	
令和2年度までの取組実績	<ol style="list-style-type: none"> 1 組織・運営体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年4月、社団法人高知県家畜畜産物衛生指導協会と統合し、業務及び運営の効率化を図った。 2 新公益法人への移行 <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年4月1日一般社団法人へ移行 		経営課題等	<p>【経営課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施頭数の増頭 ・管理費等支出経費の節減 ・事業実施に係る経費に見合う収入の確保 ・公益目的支出計画の実施 <p>肉用牛に関しては、国や県の施策が奏功し増頭傾向にある。しかし、肉用牛経営安定対策事業に関する当協会の収入は予想したほどの増加傾向にはない。また、家畜衛生部門の収支についても、支出に見合う収入になっておらずバランスが取れてない。経営収支の均衡が図られるよう、さらに事業参加頭数の増頭に努めるとともに、一層、経費の節約を図り効率的な経営の確保に努める。併せて、公益目的支出計画の目標達成に務めることが重要だと考えている。</p>
	<p>【令和3年度以降の取組方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事業運営の改善 <ol style="list-style-type: none"> (1) 和牛の生産経営については、コロナ禍にあっても全国的に比較的安定している。しかしながら、本県においては低位安定型になっており、加えて配合飼料価格の上昇もあって、生産農家の収入は増加していない。和牛肥育経営農家については県の土佐和牛肥育経営緊急支援事業により収入が増加しているが、和牛繁殖経営農家では子牛の販売価格が予想したほど上昇していない。ことに土佐あかうしで影響が大きい。和牛繁殖経営農家の収入をいかに上げるのかが問題であり、課題であると考えている。そのため、バランスの取れた和牛生産経営のための振興策実施について、全国会議の場などで国や中央団体に要請して行きたい。 (2) 全国的には肉用子牛の価格が高い水準で推移しており、肉用子牛生産者補給金制度への県内加入者数や登録個体頭数が増加しない。このことが当協会の手数料収入の伸び悩みにも繋がっている。そのため、事業推進会議の機会などを捉えて生産農家への啓発を行うなど、制度加入者数を増加させたい。 (3) 家畜衛生面においては、国内で豚熱の発生が継続しており、本県への侵入も危惧される。生産農家への啓発はもちろんのこと、管内に養豚農家を有する市町村や農協等の関係団体職員に対しても、防疫演習等の場を通じて防疫意識向上に向けた啓発を行いたい。 2 協会経営の改善 <p>当協会は事業の実施に係る国や中央団体等からの補助金及び生産者からの事務手数料収入等を元手に運営を行っている。近年、国や中央団体等の補助事業の実施に係る運営経費が硬直化するとともに業務量が増加傾向にあり、一方で、事業実施事務費の手当てされない事業も施行されるなど、協会の円滑な運営には厳しい状況が発生している。このような状況に対して、他県の協会等とも連携し、事務費の増額や適正な予算化について要請を行いたいと考えている。</p> 3 公益目的支出計画の実施 <p>計画の達成に向けて、さらに一層努力する。</p> 			